

よしもと和広の

町議会報告

2018年7月



日本共産党上富田町委員会
吉本和広 ☎ 08053301493

一 学校給食について



保護者らの長年の要望が実現し、本年度よりはじまった学校給食ですが実際の運用にあたりいくつかの問題点が明らかになりました。問題の改善に向けて発言を行いました。

朝来小学校は配膳室が狭いため給食当番の子どもたちの力が借りられず、教職員の負担が大きい。この問題は施設の不十分さからくる問題です。行政は施設が不十分なら給食補助員を配置するなどして、多大な負担を教職員にかけないようにする責任があります。その旨の発言をしました。

〈多忙な中で頑張っている教職員〉

よしもと 小学校教員は多忙です。通勤時間は平均で午後八時、遅い人では午後十時頃まで仕事をしています。そんな中で給食が始まりました。

小規模校四校は担任でない二名程の教職員が低学年クラスの準備・片付けを手伝い、中・高学年クラスは児童が配膳室に入り、センターのコンテナから給食の運搬返却をしています。少し忙しくなりましたが、何とかやれています。

〈配膳室の狭い朝来小〉

学校の規模に対して朝来小学校の配膳室は狭いので、子どもたちが入ってコンテナから直接給食を取ることができません。校務員やスクールサポートスタッフ、保護者ボランティアの方が給食をコンテナからワゴンに積み替え、教員も加わって教室前まで運び、四限目が終わるまで見守り、担任に引き渡しています。

返却も同様で、教頭や数名の職員が加わっておこなっています。ワゴンは十台あり、保護者ボランティアが二十分ほどかけてワゴンを拭く作業をしています。昼休み時間では終わらず、教員は授業に戻ります。

その後も布巾の入れ物と牛乳の入れ物を洗い終わるのが午後二時、ほぼ同時刻に給食センターが回収に来るので積み込みを手伝い、その後、洗濯をすることでした。他校と違い大幅に仕事が増えています。

校務員やスクールサポートスタッフは午前十時三十分から午後二時過ぎまでこの仕事に掛かりきりです。このような現状の中、一学期で保護者ボランティアが終了します。

〈田辺市の様子〉

田辺市の会津小学校は配膳室が広く、子どもたちがスムーズに給食を運んでいます。それでも補助員が二名雇用されています。スクールサポートスタッフは給食には関わっていません。

配膳室の改善が望めない朝来小学校は、最低でも給食補助員一名を雇用し、現状を維持する必要があります。年間四十万円程度の費用で雇用できます。どうお考えですか。

教育長 学校は日々試行錯誤をしながら取り組んでいます。配膳室が狭い現状ではこれといった良い方法が見い出せていません。子どもたちが活動できる方法を考えていただき、配膳の状況や学校の考えを聞きながら、どうしても給食補助員が必要であれば、相談しながら判断し検討したいと思っています。

〈配膳室が広ければこんな問題は起こらない。学校の責任ではなく行政の責任〉

よしもと 配膳室が狭いためにいろいろ工夫をしても解決できない問題がたくさん起きています。

〈教員が子どもと関われる時間の保障を〉

よしもと 補助員を入れることで教職員が子どもと関わる時間を保障することができます。子どもたちの成長につながります。引き続き現状の把握に努め、給食補助員一名の配置を検討してください。

〈給食に伴う消耗品費不足分について〉

よしもと 給食に伴う消耗品不足分は、学校消耗品費から出すのではなく補正予算で出すべきです。

答弁 消毒液等につきましては、一年分賄えるものと考えて配置しています。意外と雑費が入用ですので、予算が不足する場合は、財政部局にお願いして対応してまいりたいと思います。

よしもと そのように不足分を出すようしてください。